

授業科目 日常生活活動学実習

【担当教員名】 貝淵正人 大山峰生 濱口豊太	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標: G I O>】

日常生活活動（ADL）および生活関連活動（APDL）分析・評価および、障害者への支援・指導法など応用的技法について修得する。

【<学習目標>又は<行動目標: S B O>】

1. 基本動作の特徴を分析することができる。
2. ADL評価を的確にできる。
3. 代表的疾患に特有なADLプログラムを施行することができる。
4. 福祉用具を適切に選択し、実践することができる。
5. 自助具の適応、使用法、工夫点について説明することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	<u>起居動作の分析</u>	1	実習 貝淵
2	ADL動作分析 1	1	実習 貝淵
3	ADL動作分析 2	1	実習 貝淵
4	ADL評価	3	実習 濱口
5	片麻痺のADL 1	3	実習 貝淵
6	片麻痺のADL 2	3	実習 貝淵
7	脊髄損傷のADL 1	3	実習 濱口
8	脊髄損傷のADL 2	3	実習 濱口
9	RAのADL	3	実習 大山
10	その他の疾患のADL	4	実習 貝淵
11	福祉用具 1	4	実習 貝淵
12	福祉用具 2	5	実習 貝淵
13	自助具 1	5	実習 貝淵
14	自助具 2	5	実習 貝淵

【使用図書】	【書名】	【著者名】	【発行所】	【発行年・価格・その他】
教科書 (必ず購入する書籍)	日常生活活動（動作） ADLとその周辺	土屋弘吉、他 伊藤利之、鎌倉距子	日本医療出版社 医学書院	2002年 6650円 1999年 5900円
参考書				
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席、実習態度、期末試験	【履修上の留意点】 動きやすい服装で参加すること。
------------------------	------------------------------